

スコアシート 竣工段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.8
Q1 室内環境			0.40		-	3.0
1 音環境		3.0	0.15		-	3.0
1.1 室内騒音レベル	-	3.0	0.40		-	
1.2 遮音		3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能	-	3.0	1.00		-	
2 界壁遮音性能	-	3.0	-		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	3.0	-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	3.0	-		-	
1.3 吸音	-	3.0	0.20		-	
2 温熱環境		3.2	0.35		-	3.2
2.1 室温制御		3.4	0.50		-	
1 室温	-	3.0	0.44		-	
2 外皮性能	断熱建材を用いて建物の断熱化を図っている。	5.0	0.21		-	
3 ゾーン別制御性	-	3.0	0.35		-	
2.2 湿度制御	-	3.0	0.20		-	
2.3 空調方式	-	3.0	0.30		-	
3 光・視環境		3.0	0.25		-	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.40		-	
1 昼光率	-	3.0	0.29		-	
2 方位別開口	-		-		-	
3 昼光利用設備	-	3.0	0.71		-	
3.2 グレア対策			-		-	
1 昼光制御	-	3.0	-		-	
3.3 照度	-	3.0	0.10		-	
3.4 照明制御	-	3.0	0.50		-	
4 空気質環境		3.0	0.25		-	3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.50		-	
1 化学汚染物質	-	3.0	1.00		-	
4.2 換気		3.0	0.30		-	
1 換気量	-	3.0	0.42		-	
2 自然換気性能	-	3.0	0.16		-	
3 取り入れ外気への配慮	-	3.0	0.42		-	
4.3 運用管理		3.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視	-	3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御	-	3.0	0.50		-	
Q2 サービス性能		-	0.30		-	3.0
1 機能性		3.0	0.40		-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性	-		-		-	
2 高度情報通信設備対応	-		-		-	
3 バリアフリー計画	-	3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30		-	
1 広さ感・景観	-	3.0	0.17		-	
2 リフレッシュスペース	-	3.0	0.17		-	
3 内装計画	-	3.0	0.66	1.0	-	
1.3 維持管理		3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計	-	3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保	-	3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30		-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-	3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数	-	3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	-	3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	-	3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	-	3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	-	3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	3.0	0.20		-	
2.4 信頼性		2.8	0.20		-	
1 空調・換気設備	-	3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備	-	2.0	0.20		-	
3 電気設備	-	3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法	-	3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備	-	3.0	0.20		-	

3	対応性・更新性		3.1	0.30	-	-	3.1
	3.1 空間のゆとり		3.6	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	5.0	0.31	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	3.0	0.69	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	
	Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.4
	1	生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	1.0
	2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.4
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.53	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		1.0	0.50	-	-	1.0
	集合住宅以外の評価		1.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1	水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水		3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
	2 非再生性資源の使用量削減		2.9	0.60	-	-	2.9
2	2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
	3 汚染物質含有材料の使用回避		2.0	0.20	-	-	2.0
3	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		1.6	0.70	-	-	
	1	消火剤	1.0	0.33	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	1.0	0.33	-	-	
	3	冷媒	3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.8
1	地球温暖化への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	2 地域環境への配慮		2.5	0.33	-	-	2.5
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
	3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
3	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	-	-	-	-	
	3	悪臭	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	1.0	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70	-	-	
	2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	-	○		○	-	-	-	-						
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0		○	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	○	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0		-	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	1.0		-	-	-	○	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	-	○	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	1.0		-	-	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.0		-	-	1.0	1.0	-	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	7.0		-	2.0	-	-	3.0	-	-	1.0	1.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	2.0		1.0	1.0	-										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-		-	-	-	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	5.0		1.0	-	2.0	-	-	-	-	-	1.0	1.0			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		-	-	1.0	1.0	-	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	1.0	-	-	-	1.0	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		1.0	1.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	0.3	窓の日射熱取得率(η) 0.3			
U値(W/m2K)	窓システム 3.0	屋根 0.5	外壁 0.8	床 2.7	
住戸部分	窓システムU値 -	外皮UA値 -	η AC -	η AH -	
昼光率	1.5%				
自然換気有効開口面積率	3.3%				

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	-	/人	病床	-	/床	シングル	-	ツイン	-
コンセント容量	-	VA/m ²							
天井高	-	m							
リフレッシュスペース	-	レストスペース	-						
想定耐用年数	-	年							
想定必要間隔	-	年							
想定必要間隔	0	年							
想定必要間隔	0	年							
階高	6.75	m							
壁長さ比率	-								
床荷重	-	N/m ²							

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数	0%	建物緑化指数	0%				
空地率	80%	水平投影面積率	0%	地表面对策面積率	0%	舗装面積率	0%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m	0.53	断熱等性能等級	等級4 相当				
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	-		採光を満たす住戸数	-	
		通風を満たす教室数	-		通風を満たす住戸数	-	
		太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
BEI/BEI _m	再エネ有	0.97	無	0.97	オフサイト再エネ有	0.97	-
一次エネルギー削減率	再エネ有		無				-

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	0.0%				
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-
使用比率	-				
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			
オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-		
オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-		

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	50% 隣棟間隔指標Rw -				
地表面对策面積率	0.0%		屋根面对策面積率	0.0%	
見付面積Sb	1,204㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws	84.153 m	基準高さHb	17.06 m
緑地	㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡
			㎡	高反射対策面	㎡
				再帰性反射対策面	㎡